

1月号

いっしん

平成27年(2015年)

第360号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 / FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

喜びは
人の心の
真なり
日々を喜び
礼びてぞゆけ
甘木親教会
初代親先生み致



迎春

甘木親教会二代教会長 安武文雄大人 二十年祭
平成27年12月23日(水)
加治木教会 矢野サダ子大刀自 三年祭
平成27年 7月12日(日)

新年をお迎えして

(教会長)

平成二十七年、立教百五十六年、
教祖様百三十二年、甘木親教会布教
百十一年、加治木布教六十四年の新
春を迎え、おめでとうございます。

また、今年十二月には甘木親教会
二代教会長 安武文雄親先生の二十
年祭をお迎えし(十二月二十三日執
行)、加治木教会では矢野サダ子親奥
様の三年祭をお迎えします(七月十
二日執行)。

霊様が、ご安心されるよう信心
を進め御用に取り組ませていただき
たいと思います。

私どもが今日ここにあるのは、天
地の大恩、親の恩、お道を立てられ
た教祖様を始め後世にお道を伝えん
がためにご尽力下された霊様方のご
苦勞というご恩に、恵まれ生ましめ
られ育てられ導かれてあるのです。

それらのご恩をわからせていただ
こう、ご恩に応えさせていたいただ
いこうとしていくことが、真の「お
かげ」を受ける器でありましょう。

本年も共々に、元気に信心の稽古
に励ませていただきますように。

新年をお迎えして…P1
矢野政美大人遺稿…P3

甘木親教会御大祭参拝・感謝パーティー…P2
教話集を拝読して…P4 教会行事…P6

甘木親教会 生神金光大神御大祭

参拝

十二月三日・四日の両日、甘木親教会 生神金光大神御大祭が仕えられ、加治木教会から二名が、三日の御大祭第一日目に参拝させていただきました。

暖冬といわれていましたこの冬も、参拝前日の十二月二日朝から、南九州に至るまで冬の寒い寒波が訪れました。

加治木教会から信徒の代表として参拝させていただいた上田君は、出社教会参拝者代表の玉串奉奠の御用をおかけ頂きました。

また、奥津城参拝のお供え物運びの御用もお手伝いの御用をさせていただきました。

奥津城へのお供え物運びは、甘木教会の青年会が担当する御用ですが、上田君は甘木教会の「青年の集い」に毎年参加させていただいていますので、甘木教会の青年会の皆さんが加治木教会の上田君にも御用の声を

かけて下さり、有難いことです。奥津城まで三宝に盛られたお供え物を、抱えてマイクロバスに乗って運ぶ御用です。



奥津城へのお供え物運びの御用をおかけ頂く、上田和也君

歳末感謝パーティー

開かれる

十二月二十二日、月例祭後に師走恒例の歳末感謝パーティーが開かれました。

参加者一同で、今年一年健康に信心の稽古を進めおかげを蒙らせていただくことができた喜びを一緒に神様にお礼を申し上げるパーティーで、お弁当や豚汁やケーキに舌鼓を打ち、カラオケを歌う人は少なかったのですが、吉屋さん小屋敷さんの稽古を重ねられた舞踊を鑑賞させていただきました。また、プレゼント交換も楽しいひとときとなりました。



吉屋照子さん



小屋敷康子さん



みんな
で
プレゼント交換！

矢野政美大人 遺稿

(昭和五十五年一月)

天地と共に

どなたにも明けましておめでとう
ございます。輝かしい昭和五十五年、
我が道で申しますと、御立教百二十
一年の新春を迎えさせていただきま
して、今さらのごとく、この大天地
の中に今こうして生かされてこの私
があり、何と有難いことかとしみじ
みと思わせていただきます。

よく世間では「生きる権利」など
といわれておりますが、おかげを頂
かねば我が力で一息の呼吸すらでき
ないのでありますから、何もかも恵
まれてこそこのこと、何事にもお礼
を申し上げることが大切と思わせて
いただきます。

甘木の御先代が、

いぎ祈れ 祈れ諸人

いぎ祈れ あめつちありての

我と知りなば



とお詠みに
なっておられ
ますが、天地の
親神様のみら
ところを離れ
ては、私どもは
一分間も一秒間も生きることができ
ません。

私どもは自分自身に生きる力があ
って生きていくのではなくて、天地
に子どもを生かして下さるみ力があ
って、こうして生かされて生きてい
るのであります。

このことは、健康な人よりも病弱
な人の方が実感としてしみじみとわ
かるようであります。

「天にまかせよ地にすがれよ」と
は、ちよつど幼子が「お父さん」「お
母さん」と縋りつくようなことと思
います。

この天地は、天地金乃神様の大天
地であり、天地金乃神様は、真実の
親神様であらせられます。

生神金光大神様の御取次によって、
ここに天地にすぎる大きな道が開か
れてありますことは、何と有難いこ
とでありますようか。

そうして、金光大神様の御理解を
うけたまわって、親神様の「氏子信
心しておかげを受けてくれよ」との
切ないまでの、御神願を悟らせてい
ただき、天地と共に永遠に立ち栄え
る、真の信心、真のおかけを蒙らせ
ていただきますよう。

そうして、御神願成就のお役に立
たせていただきますためには、何と
しても健康のおかけを蒙らせていた
だきたいと年の初めにあたりまして、
祈り祈らせていただく次第でありま
す。



在りし日の矢野政美大人

「安武松太郎教話集」第八集

を拝読して

信心を伝えるには？!

信心を人に伝えるには、自分自身が親神様のご神恩を知り、有難い・もったいない・畏れ多いと感じて拝まざるを得ない気持ちで「おがめる」ようにならなければ伝わらない「人の心に火が点かない」と教えられています。

自分の願いをかなえるための「おがむ」から、かたじけなさを感じ「おがめる」ようにならなければ伝わらないということになります。

子々孫々の末の末まで信心を伝え、助かることができいくためには、「信心する」から「信心になる」「おがむ」から「おがめる」「よい」になっていくことが必要です。

○
 ならに、親神様のご恩や親の恩を「おがめる」ほどにわからせていただくには、信じ方の「心構えが肝要」と教えておられます。

たとえば、資産家の娘さんが嫁入り道具や持参金を持って嫁ぐときに「世間の話題になるほどたくさん持って嫁入りしたと高止まりすると、

もはやそこに不幸の根ざしができているが、考えてみれば、父母は常々心を配り、少しの物でも粗末にせず、なかなかやかましく言っておったがと自分の愚を悟り、真実の親心を明確に把握して、父母の苦勞のおかげで一身に二度とない花を咲かせてくれたと心得、孝道をたどるべきと自覚して、家族に対して踏み行うべき道を踏んで行けば、幸福の根底はここにでき、家庭も実家も自分も救われる…」(中略)

高止まりしていい気になるのではなく、知らず知らずの親の苦勞のおかげを自覚し、親心そのままに自分の踏むべき道を踏んでいく「心構えが肝要」と教えられているのです。

○
 私たちが生きていくことができるのは、親神様のご苦勞といえる「天地の大恩」のおかげであるというをわからせていただき、親の苦勞に眼を向けるような「心構え」をもって、

親神様に心を向けていく心になることが「おがめる」ということになっていくというわけです。

○
 真実の親神様を知る「心の眼(まなこ)」を見開き「おがめる」ようになって、人の心に火を点けることができるようにならせていただきますよう。

人の心に火を点けることができるくらいに、真実の親神様を知り、真実の親神様を的確につかみきって、真実の親神様を「おがめる」私になることを今年の当面の信心の目標にしたいものです。
 (教員長)



月例祭教話より

病気をしても、問題をかかえても、神様を信する心・敬う心・喜びを奉る心が微動だにしないように努め、神様から信ぜられる信心をしていきましよう。

親神様の深い親心・お計らい・お恵み・お働きを知るには、常日ごろのあたりまえなおかけを喜ぶ稽古が基礎練習で、いつも何事にもお礼を申す稽古が大切。

常日ごろから、心配に軸足を置かず、御礼・喜びに軸足を置いた信心を進めましよう。

心配や苦悩に軸足を置いて、人生の歩み方、世の中の進み方を踏み違えないように気をつけましよう。

天地はほんとうの親、おかけを願うばかりの信心は、その親から何かをもらおうと、ひどいときははぎ取ろうとするようなもの、実はこれま

で子育てをいただき、受けてきたご恩・お恵みのあることを知って、そのことを棚上げせずに、知らぬふりをせずに、お礼を申してから報いていこうとするのが真の信心。

あしあと

加治木教会行事記録

平成26年

12月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (水) 甘木親教会御大祭 第一日
- 4 (木) 甘木親教会御大祭 第二日
- 9 (火) 斎掃御用 10時
- 10 (水) ●生神堂大神様 月例祭 10時半
- 11 (木) ●蓮布教協議会 鹿児島支部 10時半
- 14 (日) 御本部布教功労者報徳祭
- 21 (日) 斎掃御用 10時
- 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
- 24 (水) ●感謝パーティー16時より
- 24 (水) 龍笛練習 20時
- 29 (月) 斎掃御用 10時
- 30 (火) ●越年祭 13時半

ご霊神様のお立日

- 一月
- 中村宗吉之霊神 (4日) 昭和61年
- 松田常衛門之霊神 (4日) 大正9年
- 内村ハルエ之霊神 (6日) 昭和59年
- 有馬幸子之霊神 (9日) 平成16年
- 西本五男之霊神 (11日) 平成15年
- 前田正蔵之霊神 (13日) 昭和39年
- 瀬戸セミ之霊神 (14日) 昭和56年
- 小屋敷勝之霊神 (14日) 平成1年
- 信國鈴子之霊神 (20日) 平成5年
- 中島ふさ之霊神 (20日) 平成16年
- 福山瑞枝之霊神 (20日) 平成21年
- 柳園義男之霊神 (24日) 昭和8年
- 本中野イセマツ之霊神 (25日) 昭和59年
- 岡山エウ之霊神 (25日) 平成20年
- 桐野仲助之霊神 (27日) 昭和21年
- 瀬尾清之霊神 (27日) 昭和41年



「先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくりよでのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

一月三日(土)

甘木親教会年頭参拝

出発 午前七時半

一月十一日(日) 十時半より

少年少女会 鏡開き・七草祭

※お祭りのあと、ぜんざいと七草たこ焼きを作ります！書初め用習字道具持参してね！

一月十日(土) 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

成人感謝祭 奉仕

※成人者、玉串奉奠・記念品授与。

一月二十五日(日) 十時より

場所 鹿兒島教会

鹿兒島地方教会連合会

定期総会

一月五日〜二月四日
寒中一斉信行

ご祈念・研修 午前五時二十分・午前十時
ご祈念のみ 午後四時・午後九時

教会行事

平成二十七年

1月

1 (祝) ●元日祭 正午

3 (土) 甘木親教会年頭参拝

9 (金) 斎掃御用 10時

10 (土) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半

併せて 成人感謝祭

11 (日) 少年少女会「鏡開き」10時半

15 (木) 若婦人会 13時半

18 (日) 西鹿兒島教会報徳祭 12時

●朝参拝日 6時

21 (水) 斎掃御用 10時半

22 (木) ●月例祭・共励会 13時半

25 (日) 連合会定期総会(鹿兒島教会に) 10時

31 (土) 斎掃御用 10時半

《未定行事》
※若婦人会・青年会

加治木教会 バンド練習会

〈できれば、毎週水曜 午後7時半より〉

練習のあるときは随時連絡します。

今年も練習会に参加してお役に立たせていただきますように。

2月

1 (日) ●報徳月例祭 10時半

4 (水) 甘木親教会初代立日御祈念 10時

5 (木) 若婦人会 13時半

8 (日) 宮之城教会松井茂喜大人二年祭 十二時

9 (月) 斎掃御用 10時半

10 (火) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半

12 (木) 矢野政美大人立日 10時半

15 (日) 上荒田教会 報徳祭 11時

17 (火) 甘木親教会報徳祭 11時

18 (水) 甘木親教会「同釜会」

21 (土) 御用奉仕

22 (日) ●加治木教会 報徳祭 11時

28 (土) 斎掃御用 10時半

《未定行事》
※多良木教会 報徳祭

